

みんなを幸せにする資本主義

～公益資本主義のすすめ～ (株)フォーバル取締役会長 大久保 秀夫

{ 金融立国の愚 }

欧米型金融資本主義は「企業は株主のもの」となり利益を最大限配分、本来長期的に必要な技術研究開発・不況時への備えの内部留保が劣後する。

経営者に厚く従業員を幸せにしない待遇で中間層没落、労働者の商品化等、市場原理経済で日本の良き雇用環境は破壊される(従業員の信頼関係喪失・技術伝承消失)投機家だらけの株式市場＝短期成果志向市場で目に見えるものだけの評価追及(時価総額、キャッシュフロー、業績の伸び率、財務の健全性、ROE＝株主資本利益率東証平均8%、ROA＝総資本利益率、PER＝株価収益率、PBR＝株価純資産倍率1以下は割安)

投機マネーは非常に臆病、売りが売りを呼び乱高下する

投機マネーは世界マーケットを混乱させ実体経済に悪影響を与える。

{ 資本主義から公益資本主義へ }

そもそも資本主義は成長発展が前提、資本主義の3つの種類

- ① 欧米型金融資本主義
- ② 日本型
- ③ 中国型国家資本主義 * 国が積極的に経済に介入 * 開発独裁
* 株価てこ入れ * 為替管理フロート制(一定の枠内)
* 国有企業で採算度外視・腐敗構造
* 一部特権階級への富のシフトで極端な貧富差化

{ 経済の語源＝経世済民＝企業は公器 }

世の中をよく治めて人々を苦しみから救うこと、社員・顧客・地域・社会全体を大切にすることで企業は利益を永続させ株主に利益を還元できる。

{ 公益資本主義の提唱者・賛同者 }

「提唱者」米国シリコンバレーでベンチャーキャピタリスト 原 丈人

「賛同者」

1. トヨタ自動車の豊田章男社長(日経ビジネス6月号)～私の理想に一番近いもの
2. 東レ(株)日覺昭廣社長～欧米型の金融資本主義に対して技術開発を行う日本は公益資本主義と規定する(2013年8月号織研新聞社の織研PIUSに掲載)P 1

{ 米国の学生は気づき始めている }

ビジネスウイーク誌の調査結果 就職人気ランキング2007・2010・2012年での

「ベスト15位にランクイン」は

- *ピースコープ(平和部隊～日本の海外青年協力隊のモデル) 5～7位
- *ティーチ・フォー・アメリカ～エリート大学の成績優秀者が卒業後の2年間米国内の貧困地区にある公立の学力底辺小・中校で教師になる 5～10位
- *投資銀行ゴールドマンサックス 2007年11位、2010・2012年には投資銀行など金融機関は上位に1社も入っていない、会計事務所も同様。

{ 日本型経営の本質 }

年功序列賃金・終身雇用・企業別組合の三種の神器とメインバンク制、株式持ち合い、各種規制など戦後日本の高度成長を支えてきた要素は否定されてしまった、成果報酬、非正規社員、組合は機能不全、メインバンク制崩壊、株主持ち合い解消、各種規制は大幅に自由化。

古くから商人は「三方よし」～売り手・買い手・地域社会全ての人に喜びを心掛けた。

{ 世界の危機を救う公益資本主義 }

世界経済の成長は限界(高齢化、食料・環境危機、人口増加などの問題山積)

「松下幸之助に学ぶ公益資本主義の経営哲学＝100年ビジョン」

- ① 経営理念の確立＝企業の存在意義と目的～理念をつくれれば50%、浸透させれば、80%の確率で企業は成功する。
- ② 経営の進め方についての基本的な考え方～自社の技術力や資金力・販売力・経営力など総合的な実力を的確に把握し、その範囲で経営を進めていくことの大事さ
社員には自主責任経営と衆知を集めた全員経営を求めた「人間は自ら自主的に、責任感を持って事に当たるとき、やり甲斐を感じ大きな成果を上げる」あくまでも、社員を主役に、問題解決も社員に任せる。
- ③ ガラス張り経営～従業員に毎月公開
- ④ ダム経営～お金・人材・技術開発・在庫・設備の適正
- ⑤ 共存共栄～仕入れ先・販売店・同業者、互いに依存せず独立と協調で繁栄・発展

「欧米型資本主義への疑念」

* 金中心・損得が基準の考え方→利益とは社会に対する企業の貢献度に対する報酬

* 経営の進め方＝リストラは社員の不安をあおり製品・会社への不信となる。

→経営は真剣勝負であり不景気の際は次なる進展の基礎固めの時。

* 社外取締役を増やすのは本末転倒～2名以上採用していた企業で不正会計が、問題となったオリンパス、大塚家具(骨肉の争い)、東芝(4名)過大評価は禁物。

{ 家族的経営に真の経営がある }

20世紀は大企業が世界経済をリード、21世紀は中小企業がけん引役に、日本は99%米国でさえ90数%が中小零細業者(1社あたり平均1億円売上予測380兆円)

{ 短期投資8:2長期投資が投資家の現状 }

本来長期運用が必要な年金の運用総額2001年1、07兆ドル、2011年には2兆ドル?その大半が3ヶ月単位の運用成績で評価する短期投資主導の株式市場が実体。

「トヨタ自動車の英断」

2015年6月、第1回AA型種類株式発行、価額1万598円、5年保有すれば配当が徐々に上がり2、5%になる・株価が下げても発行価額で買い取り・上回れば同一株数で変換し市場で時価売却できる、但し5年間は自然災害・自己破産以外は保有が条件申し込みは予定発行金額の10倍となった。

{ 良い会社への投資～投資信託の仕組みを使った鎌倉投信の例 }

「結い2010」はこれからの社会に本当に必要とされている会社に投資する、短期的な売却益目的の投機とは一線を画する(運用実績などはホームページで確認できる)

{ 日本が長寿国なのは人間だけではない }

WHO加盟194ヶ国平均寿命ランキングで1位(平均84歳・女性87歳・男性80歳)
企業では創業百年以上約2万7千社、2百年以上約12百社、3百年以上約6百社、4百年以上190社、5百年以上40社、千年以上19社、2百年超企業数で世界の43%!
年商は1億円未満41、6%、1～10億円未満40%、10～100億円未満14%
従業員9人以下10564社、10～29人5374社、30～49人1589社、以上で84%を占る

{ 創業300年の長寿企業は何故栄え続けるのか }

グロービス経営大学院監修 東洋経済新報社

- ① 平時には本業重視の事業成長を実現する
- ② 平時には質素儉約な経営を実現する
- ③ 平時には長期的な社是で新事業拡大を実現する
- ④ 有事には危機下での大胆な意思決定を行う
- ⑤ 経営の独自性を保つための「資本構成」を維持する
- ⑥ 危機に耐えられる「財務力」を維持する

⑦ 地域業界からの信頼・期待によるガバナンスを効かせる

⑧ 神様や伝統を敬う心を経営に役立てる

以上の点を守れば身の丈経営が実現できる

{ 成長しすぎない伊奈食品工業 }

創業1958年、寒天メーカー、国内シェアー80%、世界15%、創業以来2005年迄48年連続増収増益。

この会社の社是「いい会社を作りましょう・たくましく逞しく・そして優しくやさしく」

{ 教育は国力の礎 }

「2012年4月 高校生の調査報告」

自分は価値ある人間だ 日本39,7% 米・中・韓国は80%前後

自分はダメな人間だ 日本83,7%と圧倒的な差がある

大学の4年間で読む本 日本100冊(しかもほとんど読まない人の割合は54%)

米国400冊

大学の勉強時間では 日本の学生 1~2時間、米国の学生 6~8時間

{ 中小企業の海外進出をサポートする制度 }

国から現地でのビジネスが成功するかどうか調査する費用として数百万円の援助が受けられる(出張費・コンサル費用)ODAの支援も可能。

5年前には日本企業でカンボジアに進出していた企業 46社 現在は 160社
ミャンマーはゼロから 200社

{ 新興国支援は教育の輸出から }

公益資本主義推進協議会(PICC)は公益財団法人CIESF(シーセフ)と一緒に、途上国に保育園・幼稚園・小学校・中学校の一貫校を作ろうとしている、日本の最大の強みである人に対する教育の輸出、カンボジアに「国境なき教師団」を結成して派遣及び教育政策大学の創設~2012年に開校、政府教育省の職員を再教育。

{ 筆者大久保秀夫自身の覚悟 }

(株)フォーバル創始者である自分の株式は「死後に全て公益財団法人CIESFに寄付する」との遺言をしたためた。